教科	科目	単位数	開講学年	必修/選択	授業形態			
					講義	演習	実習	その他
商業	原価計算	2	2	必修	○	○		

教材費・準備物等	進路・資格・興味・関心など
教科書、副教材、電卓 検定受験料及び模擬問題集購入代金	全国商業高等学校協会簿記実務検定１級または、日本商工会議所簿記検定２級の取得を目指す。経営・商学系大学等への進学希望者、企業への就職希望者。

科目概要	1．原価と原価計算 ア　原価の概念 イ　原価計算の特色と仕組み 2．原価の費目別計算 ア　材料費の計算 イ　労務費の計算 ウ　経費の計算 3．原価の部門別計算と製品別計算 ア　個別原価計算と製造間接費の計算 イ　部門別個別原価計算 ウ　総合原価計算 4．内部会計 ア　製品の完成と販売 イ　本社・工場会計 ウ　製造業の決算 5．標準原価計算 ア　標準原価計算の目的と手続 イ　原価差異の原因別分析 6．直接原価計算 ア　直接原価計算の目的と財務諸表の作成 イ　短期利益計画への活用	評価観点	知識技能	原価計算に関する会計処理及び原価情報の活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。
			思考判断表現	原価計算に関する会計処理及び原価情報を活用する方法の妥当性と課題を見いだし、科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を身に付けている。
			主体的態度	企業会計に関する法と基準を適切に適用する力及び自ら原価計算について学ぶ態度や組織の一員として役割を認識して当事者としての意識をもち、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
		評価方法		定期考査、単元ごとの小テスト、授業時でのワークシート、提出物。

前年度履修すべき科目	なし
継続で履修すべき科目	なし

教科	科目	単位数	開講学年	必修/選択	授業形態			
					講義	演習	実習	その他
商業	ソフトウェア活用	2	2	必修	○	○		

教材費・準備物等	進路・資格・興味・関心など
教科書、副教材 検定受験料及び模擬問題集購入代金	全国商業高等学校協会情報処理検定２級の取得を目指す。経営・商学系大学等への進学希望者、企業への就職希望者。

科目概要	３章　表計算ソフトウェアの活用 １節　表計算ソフトウェアを用いた情報の集計と分析 ２節　表計算ソフトウェアを用いたオペレーションズ・リサーチ 4章　データベースソフトウェアの活用 １節　ビジネスとデータベース ２節　データベースの作成と操作 ３節　SQLの操作 １章　企業活動とソフトウェア活用 １節　ビジネスにおけるソフトウェアの活用 ２節　ビジネスにおけるソフトウェアの進化 ２章　情報通信ネットワークの活用 １節　情報通信ネットワークの導入と運用 ２節　情報資産の保護 ５章　情報システムの開発 １節　システム開発の基礎 ２節　アルゴリズムの基礎	評価観点	知識技能	企業活動におけるソフトウェアの活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。
			思考判断表現	企業活動におけるソフトウェアの活用に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。
			主体的態度	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業活動におけるソフトウェアの活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
		評価方法		定期考査、単元ごとの小テスト、授業時でのワークシート、提出物。

前年度履修すべき科目	なし
継続で履修すべき科目	なし

教科	科目	単位数	開講学年	必修/選択	授業形態			
					講義	演習	実習	その他
商業	マーケティング	2	2	選択	○	○	○	

教材費・準備物等	進路・資格・興味・関心など
教科書、BYOD端末	実践を交えながら、商品が売れる仕組みを学ぶ。就職・進学（特に商大系志望）どちらの希望者でも学びになる。

科目概要	1章　マーケティングの概要 2章　消費者行動の理解 3章　市場調査 4章　STP 5章　製品政策 6章　価格政策 7章　チャネル政策 8章　プロモーション政策 9章　マーケティングの広がり	評価観点	知識技能：マーケティングについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに，関連する知識・技術を身に付けている。 思考判断表現：マーケティングに関する課題を発見し，ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。 主体的態度：ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び，マーケティングに主体的かつ協働的に取り組むもうとしている。
		評価方法	定期考査、小テスト、授業内発表、授業内で取り組んだワークシート、提出物。
前年度履修すべき科目			
継続で履修すべき科目			

教科	科目	単位数	開講学年	必修/選択	授業形態			
					講義	演習	実習	その他
商業	財務会計Ⅰ	2	2	選択	○	○		

教材費・準備物等	進路・資格・興味・関心など
教科書、副教材、電卓 検定受験料及び模擬問題集購入代金	全国商業高等学校協会簿記実務検定１級、日本商工会議所簿記検定２級の取得を目指す。経営・商学系大学等への進学希望者、企業への就職希望者。

科目概要	第１編　財務会計の基礎 ア　企業会計原則と企業会計基準 第２編　貸借対照表 ア　資産の意味、分類と評価 イ　負債の意味と分類 ウ　純資産の意味と分類 エ　貸借対照表の作成	評価観点	知識技能：財務会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 思考判断表現：企業会計に関する法規と基準､会計処理の方法の妥当性と課題を見いだし､根拠に基づいて創造的に課題に対応している｡会計的側面から企業を分析する力を身に付けている。 主体的態度：会計責任を果たす力の向上を目指して自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
		評価方法	定期考査、単元ごとの小テスト、授業時でのワークシート、提出物。
前年度履修すべき科目	なし		
継続で履修すべき科目	財務会計Ⅰ		

教科	科目	単位数	開講学年	必修/選択	授業形態			
					講義	演習	実習	その他
商業	ビジネススキル	3	2	選択	○	○		

教材費・準備物等	進路・資格・興味・関心など
問題集、電卓 検定受験料及び模擬問題集購入代金	全国商業高等学校協会ビジネス計算実務検定１級の取得を目指す。経営・商学系大学等への進学希望者、企業への就職希望者。

科目概要	１ 単利の計算 ２ 手形割引の計算 ３ 売買・損益の計算 ４ 複利の計算 ５ 減価償却費の計算 ６ 複利年金の計算 ７ 証券投資の計算	評価観点	知識技能	単利計算・手形割引・仲立人の手数料・減価償却費（定額法）など、ビジネス実務計算能力の基本的な知識と技術を身に付けている。
			思考判断表現	建値・売買損益・複利計算・証券投資の計算・減価償却費（定率法）など、ビジネス実務計算能力の発展的な思考力を身に付けている。
			主体的態度	主体的に問題演習に取り組むことで授業に参加し、理解を深める意欲を持って単元別テストにも臨み、成果を発揮しようとしている。
		評価方法		定期考査、単元ごとの小テスト、授業時での取り組み、提出物。
前年度履修すべき科目	キャリアアップA			
継続で履修すべき科目	なし			

教科	科目	単位数	開講学年	必修/選択	授業形態			
					講義	演習	実習	その他
商業	キャリアアップC	1	2	選択	○	○		

教材費・準備物等	進路・資格・興味・関心など
検定受験料及び模擬問題集購入代金	全国商業高等学校協会ビジネス文書実務検定1級の取得を目指す。経営・商学系大学等への進学希望者、企業への就職希望者。

科目概要	・文書作成ソフトウェアを活用し、文字入力の基礎を身につける。 ・文書の基礎知識を身につける。 ・機械および機械操作に関する知識 ・文書作成ソフトウェアを活用し、タッチメソッドを身につける。 ・文書作成能力の向上を図る。	評価観点	知識技能	・文書作成ソフトウェアの機能を用いてビジネス文書を作成することができる。 ・ビジネス文書作成に必要な基礎知識が身に付けている。
			思考判断表現	・文書作成ソフトウェアの機能を理解し、ソフトウェア機能を用いて、ビジネス文書を効率よく作成することができる。 ・ビジネス文書作成に必要な知識を文書作成に活用できている。
			主体的態度	・文書作成ソフトウェアの活用に関心を持ち、その知識と技術の習得および向上を目指し意欲的に取り組む態度を身に付けている。 ・文書作成の基礎知識を、作成に主体的に活用する態度を身に付けている。
		評価方法		定期考査、小テスト、速度記録、学習態度、提出物。
前年度履修すべき科目	キャリアアップB			
継続で履修すべき科目	なし			